

1 事業の成果

当法人内にて発足し継続して活動を行なっている「浦戸湾みらい会議」の活動では、浦戸湾の残したい風景として周辺の景観を選定し、小冊子「私たちが選ぶ浦戸湾の風景」を作成した。併せて昨年度より実施している鏡川大橋の塗り替え提案として「鏡川大橋色彩検討委員会」の管理運営を行い結論が得られた。また、継続して行なっている四国の山や水源地を守り、循環型社会を構築する活動としての木質バイオマスの利用促進の取組みや環境への啓発活動も事業開始から5年目を迎え、一定の成果を挙げることができ、今後の活動につなげる事ができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
浦戸湾みらい会議事業	市民自らが浦戸湾の将来像を考えるとともに、行政と市民とのパートナーシップの実現を目指した事業。	2000.1.29 ～ 継続中	高知市内	60	不特定多数	75
「鏡川大橋色彩検討委員会」管理運営	昭和56年（1981年）に高知県によって建設された鏡川大橋は平成16年（2004年）より国道56号線として国土交通省に移管された。国土交通省では、近い将来起こると言われている南海地震や東南海地震に備え、この鏡川大橋の耐震補強工事の塗替えに伴う色彩検討を昨年度「浦戸湾・色彩計画専門部会」並びに「浦戸湾・色彩計画策定協議会」にて行なった。今年度は地域住民、メディア、道路利用者や有識者等で構成される「鏡川大橋色彩検討委員会」を立上げ、最終的な検討会の管理運営を行った。	2007.4.1 ～ 2008.3.31	高知市内	100	不特定多数	380
助成事業「平成浦戸湾十景選定活動」	県民市民の財産である浦戸湾をより良い形で後世に残していくために、また、浦戸湾への関心や興味を持ってもらう活動として、浦戸湾のすばらしい景観を選定し、発信していく活動を行った。	2007.3.27 ～ 2008.2.29	高知市内	85	不特定多数	200
受託事業「高知港浦戸湾情報資料作成」	高知県が南海地震から県民の生命、身体、及び財産を守るための条例（南海地震条例）を作成するため、その条例に盛り込むべき県民から指摘される課題、意見、解決策、その他の提案、申出等を受ける場（ワークショップ）を企画・運営し、県民の意見等を取りまとめた報告書を作成し、件が主催する南海地震条例づくりシンポジウムでワークショップの成果を報告すること及び南海地震条例づくりPRパンフレットを作成・印刷することを目的として実施した。	2007.11.15 ～ 2008.2.12	高知県内	36	不特定多数	213

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
自主事業「ベレットストーブ普及事業」	木材の有効利用をすることによって、四国の水がめ「土佐わいほく」の水源地を守るもので、嶺北地域の木材を原料とする、木質ベレットを使用したベレットストーブのレンタルを行なった。この事業が拡がることにより、間伐材等の有効な利用が促進され、嶺北地域の水源の森がより整備されていけば、四国のモデル的な取組みになることと思う。事業開始から5年目を向かえ一定の成果を得られたことから今年度を持って事業完了とする。	2003.12.1 ～ 継続中	四国内	53	不特定多数	196

(2) 収益事業
該当なし。